

駅前キッズほっとママ自己評価チェックリスト（保育士）

A：理解して十分に取り組んでいる B：おおむね取り組んでいる
 C：理解が不足し十分に取り組んでいない D：取り組めていない

自己評価チェック内容		評 価 (%)			
		A	B	C	D
基本項目					
総 則	入園している子どもの最善の利益を配慮して保育にあたっている	90	10		
	全体的な計画に基づき、保育目標を定め保育を行っている	90	10		
	子ども一人一人の人権を尊重し、愛情をもって保育にあたっている	90	10		
	自らの人間性や専門性の向上につとめ豊かな感性を磨く努力をしている	80	20		
保 育 理 念 ・ 目 標	園の保育方針を理解している	90	10		
	園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている	90	10		
	グループの担当間で話し合っ、保育目標を立てている	70	30		
	自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている	70	30		
保 育 の 内 容	保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している	80	20		
	子どもの発育歴や心身の発達などを考慮する関わりが出来ている	70	30		
	着替えを援助する時は、無理やり脱がしたり着せたりしていない	90	10		
	子どもやる気を見守りながら、できない部分を援助している	90	10		
	生活や遊びの中で、子ども自身が選択できるような問いかけをしている	80	20		
	子ども一人一人の思いに耳を傾け否定せずに、受け止めている	70	30		
	子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	90	10		
	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ち良い保育室づくりを心がけている	90	10		
養 護 に 関 す る ね ら い と 内 容	登園時の子どもの健康観察を行っている	90	10		
	登園時、泣く子どもに対して放っておいたり、叱ってしまうことがないようにしている	90	10		
	子どもとの温かなやり取りやスキンシップを常に心がけ、子どもの心の安定につなげている	100			
	温かい受容的な雰囲気や関わりが子どもの自信や自己肯定感を育むことを理解して保育している	90	10		
	「だめ」「いけません」など制止する言葉を不必要に用いないようにしている	70	30		
	子どもが活動しやすいようにその都度、室内の温度調整、換気チェックしている	80	20		
	園庭や散歩など戸外で遊ぶ機会を目的をもって取り入れている	100			
	保育士が率先して体を動かすなど、子どもがその楽しさを体験できるよう配慮している	100			
	年齢に応じて食事の前や排泄後の手洗い等、清潔の習慣が身につくよう援助している	80	20		
	子どもの食事の様子を把握し、無理のないよう援助ができている	80	20		
	子どもが見通しをもって意欲的に行動できるようにするとともに、快適に生活するための約束事をわかりやすく伝える工夫をしている	80	20		

基本項目		A	B	C	D
教育に関する ねらいと内容	危険に気づいて行動できるよう、安全についての心構えや約束を日頃からしている	90	10		
	つまづきや葛藤、けんかなどを子どもの発達に欠かせないものとしてとらえ、対応している	100			
	困っている友だちのことを心配するなど思いやりを持てるよう援助している	90	10		
	なかなか寝つけられない子どもを部屋から出したり、布団を部屋の隅に敷きなおしたりしていない	90	10		
	保育士は子どもにとって最も身近な人的環境であるとともに、全ての言動が子どもにとって見本になっていることを常に意識しているか	60	40		
	子ども同士が力を合わせて取り組む姿や、協力して遊びを発展させていく姿を十分に認め、集団意欲を高められる仲立ちができています	90	10		
	子どもが思ったことを相手に伝えたり、相手の思いに気づけるような保育（関わり）をしている	80	20		
	身近な自然に触れ「どうして」という質問に対して美しさや不思議さに気づけるよう配慮し、「なぜ？」という疑問に対して一緒に考えたり調べているか	70	30		
	毎日の生活の中で、図形や数量、前後左右、遠近などの位置の違いや時刻などに関心が持てるような関わりをしている	50	50		
	信頼できる相手に伝えたいという気持ちが発語を促すことを理解し、子どもと関わっている	80	20		
	子どもの表情や姿をよく観察し、その場に応じた言葉かけをしている	90	10		
	子どもがわからないことを尋ねたり、楽しい経験を伝えるなど安心して話せる雰囲気を作っているか	90	10		
	「ありがとう」「ごめんなさい」など生活に必要な言葉を使えるように保育している	100			
	保育の計画及び評価	様々な色・形・手触りに気づき、感触の違いを感じる機会を作っている	80	20	
糊・はさみなどいろいろな道具の使い方を、一人一人に丁寧に伝えたり、見守ったりしている		70	30		
一人一人の園での様子など、職員間で連携を取り、職員全体で見守る体制ができています		80	20		
全体的な計画は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されている		90	10		
子どもの発達過程を理解して、人間形成の基礎を培う時期であることを十分に認識して作成している		90	10		
一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識のもとに作成している		80	20		
記録を踏まえて、指導計画に基づく教育・保育を見直し、改善を図っている		90	10		
健康と安全	その日にあった出来事や気になる子どもの様子などを、他の職員と共有することができている	70	30		
	指導計画（年間・月・週）が実際の子どもの姿・心情・意欲・態度にあっている 自己の保育の振り返り、反省評価をしている	90	10		
	指導計画の反省評価は、次の指導計画（年間・月・週）作成に反映できるものとなっている	80	20		
	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人一人の保育に活かしている	90	10		
	子どもが危険な場所・危険な遊びがわかり、安全に気をつけて行動できるように伝えられている	100			
	トイレに行くことをせかしたり、強要したりせずに一人一人の排泄の欲求に合わせるようにしている	70	30		
子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるよう雰囲気づくり・配膳・下膳の手伝いなど食事に興味をもてる工夫をしている	80	20			
子どもたちが自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つよう心がけているか	70	30			
誤飲・誤嚥に繋がることのないよう、職員同士連携を図り、見直すことができていますか	70	30			

基本項目		A	B	C	D
食育	給食を楽しんで食べる事ができる工夫をしているか	80	20		
	子どもの食生活が充実するよう一人一人に合わせた配慮・工夫して食育活動をすすめている	100			
	食育活動と保育内容は連動され、適切に実施されている	90	10		
	食物アレルギーの子どもに対し、個別配慮が適切にされているか	100			
	一人一人の食事量に配慮し、無理強いすることなく安心して食事が摂れる環境になっている	90	10		
保護者に対する支援	送迎の際に保護者と必ず言葉を交わすようにしている	80	20		
	一人一人の保護者と必要に応じて個別に面談を行っている	90	10		
	家庭との信頼関係が築けるような連絡ノートの書き方をしている	90	10		
	保護者が子育ての悩みや心配事などを安心して話せる存在になるよう心がけている	90	10		
	批判的な保護者（意見）に対しても、丁寧に意見や要求を受け止めようと努力をしている	90	10		
職員の連携資質向上	保護者からの相談内容などを担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしている	100			
	職員会議などでは、子ども最善の利益を尊重して発言している	90	10		
	園の内外における研修・研究及び自己研鑽により専門性を高める努力をしているか	90	10		
	職員同士の信頼関係、保護者との信頼関係を深めるための努力をしている	90	10		
	自分の保育を振り返り、課題や問題点を見つけるとともに、の中で生じた疑問や悩みを上司や同僚に相談することができる	100			
保育士の責務（適切な保育士のために）	一人一人の子どもの活動や姿をしっかり記録に留めることができる	70	30		
	毎日笑顔で子どもや保護者、同僚に接するよう心がけている	90	10		
	子どもとよく遊び一緒に楽しんでいる	90	10		
	子ども発達に合った手作りおもちゃなど、創意工夫を惜しまず、保育に取り入れている	70	30		
	子どもの自発性や発想を大切に、子どもが主体的に活動できるよう適切な援助・環境を心がけている	60	40		
	子どものこと、クラスの様子や出来事、保護者の様子など、適宜園長や副園長に報告を、連絡、相談している	90	10		
	子どもの名前を呼び捨てにするのではなく、〇〇さん〇〇ちゃんなど丁寧な呼び方をしている	90	10		
	子どもの個人情報を適切に扱うとともに、園内で知れた事柄や情報に対して守秘義務を遵守している	100			
	子どもの発達や成長に関する帳簿は適切に記載し、保管されている	100			
	子どもの一人一人の人権を尊重した関わりしている	90	10		
	物事を強要するような関わり、脅迫的な言葉がけはせず、子どもの気持ちに寄り添った保育がされている	80	20		
	子ども一人一人の育ちや家庭環境への配慮した関わりができています	90	10		
特別なニーズ（外国籍・経済的困難・養育困難等）を有する過程への支援について職員間で情報共有して配慮している	80	20			
<p>振り返り：（自己評価を通し今年度の気づきや今後の課題を記入）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に向けた保育方針のすり合わせや情報共有をこまめに行っていく ・保育に対する知識、対応の仕方など、常に向上心を持って学ぶ姿勢が必要と思った ・目の前の保育に追われている日々だが、自己評価を基に、各項目を意識して取り組んでいきたい 					

